



”内定者フォロー”レポートNo9

株式会社サーフボード

執筆 田嶋 節和

TEL 0776-52-2134 FAX 0776-52-2135

URL <https://www.surfboard.jp/>

E-mail tajima@surfboard.co.jp

就活生が会社選びで重視する基準・ポイント前編

就活生は様々な情報を収集してエントリーしたい企業を選びます。その際にほとんどの学生は待遇、給料、福利厚生をしっかりと見ますが、その次に重要視する事は大きく二つに分かれます。それはどんな内容なのか前後編に分けてまとめてみました。

クオリティ・オブ・ライフを重視する就活生

就活生は自分の希望する会社を探す際に、様々な条件や環境を調べます。大手企業であれば会社名で直に検索されますが、中小企業の場合は会社名での検索はほとんどなく、給与や制度などの検索軸でヒットすると思ったほうがいいでしょう。

ほとんどの就活生は職種や勤務地などの基本条件を基準にして、理想と近い会社が見つかった場合には、さらに募集条件の確認や企業研究を進める事になります。企業研究の方法として会社説明会、会社訪問で具体的な話を聞いたり、採用ホームページやクチコミサイトで情報収集をしたりしますが、就活生によって何を求めるかに大きな傾向の違いがあります。

一つ目は生活の質 (QOL) を重視する学生です。趣味など個人の時間を大切にしたいため、会社の残業時間の量や労働環境を気にします。二つ目はスキルアップを重視する学生です。業界や業種の将

来性、会社の将来性、身に付けられるスキルや経験を気にします。

大きく分けると、この二つのどちらかを重視している、もしくは両方重視している傾向にあると思われます。それぞれにおいて前編と後編に分けて詳しく説明させていただきます。

社会問題となっている残業時間

残業時間がどの程度あるのかを気にかける就活生は多いです。残業行為自体に抵抗が無くとも、残業時間は気にします。なぜなら昨年から大手広告代理店での過労死問題が大きく取り上げられ続けているため、就活生もかなり敏感になっているからです。

過労死ラインとされている月に 100 時間を超える残業をさせる企業は多数あることを就活生も周知の事実であり、隠そうとしたり誤魔化したりすると、逆に怪しいと思われるため、積極的に情報公開したほうが得です。

また就活生は自分の身体及び自分の時間を優先する人が増えていると言われていています。この理由として、終身雇用が崩壊している一般企業において、会社に尽くす魅力が低減したと考えられます。ある意味でダラダラとした残業を認めず、限られた時間で成果を上げることに集中してくれるため、

プロ意識が高いと言えるかもしれません。

みなし残業時間の問題

残業時間と違い、説明を省略されやすいのが、みなし残業代や固定残業代についてです。ある程度の残業が予め予想される会社は、最初から残業代を含めた金額を設定します。厚生労働省の調査では、約10%の会社がみなし残業（みなし労働時間制）を採用されているそうです。

職種や時期によって残業時間の幅が全く違う会社もあり、「誤解が生まれるので下手に公表したくない」と考えている人事もいると思いますが、雇用契約書での取り交わしの際に説明するとトラブルになるケースもありますので、事前に伝えておいたほうが揉めません。

また就活生は「みなし残業とは、必ず残業をしなくてはならない時間」と勘違いしている人が多いです。みなし残業時間が多いとブラック企業だと考えてしまう人もいます。社会人にとっては当たり前の知識ですが就活生は知りませんので、誤解が生まれないように丁寧に説明してあげてほしいと思います。

まとめ

しっかりと残業時間について把握・説明できるようにしておくことが重要です。残業時間が多いことは、労働環境が悪い事と同じとみなされます。もしも過度に残業時間が多ければ是正することから始める必要があると思います。優秀な人材を確保するためにも、まずは社内の労働環境の改善から始めてみませんか。

採用担当者の皆様へ

インターンシップを計画する採用担当者にとって、下記のような課題が上げられます。

- 大手就活ナビサイトや SNS 広告を使っても、インターンシップ参加学生が集められない。
- 他社とインターンシッププログラムの差別化ができないため、応募が集まりにくい。
- 遠距離の学生に参加してもらえない。
- 理系学生の学業を妨げないようにするため、インターンシップの開催日の設定が難しい。
- 1 Day インターンシップを行う会場の手配や準備、連絡業務が大変である。
- 来春の企業説明会から選考まで長期間継続してフォローするのが大変。
- 内定者とインターンシップ参加学生の両方をフォローするには採用担当は人員不足だ。

そんな課題を一気に解決します。詳しくは

アプリ de インターンシップ紹介サイト

<https://www.chaku2.jp/lp>

公式：内定者フォロー（ちゃくちゃく NEXT）

<https://www.chaku2.jp/>

お問い合わせ先

株式会社サーフボード

担当者：本庄 孝司 honjo@surfboard.co.jp

連絡先：0776-52-2134

〒910-0842 福井県福井市開発 2 丁目 614